

山行報告書

報告書作成

2008年6月29日

山名 [山域]	茅ヶ岳・金ヶ岳	目的と方法	初夏の展望とお花見
登山期間	2008年6月28日	山行形態	周回
参加人数	4人		

行動記録

27日(金)岡崎(21:40) = 飯田山本IC(23:45) = 駒ヶ岳SA = 八ヶ岳SA(13:15)(泊)

28日(土)八ヶ岳SA(5:45) = 韮崎IC(6:07) = R27 = 深田記念公園(6:30,6:45) - 女岩(7:45) - 茅ヶ岳(9:10) - 金ヶ岳(10:35,12:00) - 茅ヶ岳(12:50) - 林道合流(14:30) - 登山口P(15:00,15:30) = 明野温泉太陽館 = 須玉IC(17:58) = 諏訪SA(夕食) = 山本IC = 岡崎(20:45)

概念図



日誌

天候は薄曇。梅雨時期でもあり多少の雨具着用は覚悟で 出発。八ヶ岳SAは静かではないが深夜到着で睡眠に支障をきたす程では無い。茅ヶ岳の登山口は 何箇所かあるが 深田公園からが最もポピュラーコースである。駐車場は広い。すでに 4・5台の車が駐車。マイクロバスも駐車。公園散策は下山後ということで すぐに出発する。登山道はしっかりしていて 急登もなく歩きやすい。見事なアカマツ・カラマツ・ミズナラなどの自然林。この時期しっかりと 水分を含んだ植物がみずみずしい。程なく珍しい シャクジョウソウを見つける。その一帯だけ 何株もみつけ 今が一番綺麗な時期に すっかり撮影タイムになった。イチヤクソウ・ウメガサソウ他にだれにも 分からぬままのラン系の花あり。

女岩を経て 程なく「深田久弥終焉の地」の碑がある。誰かが手向けたであろう花が供えられ、人気が偲ばれる。サラサドウダンの花びらが ところどころに絨毯を敷き詰めたように落ちている。咲いた花も見事だが登山道に咲く落花も又 撮影したくなる 趣がある。

頂上(1703m)は 黒土が露出し広く、本来ならば 展望が開け南アルプス・富士山・瑞垣・金峰が見えるはずである。何とか雲間から 南アの鳳凰のオペリスクが確認できた。山頂で 地元の山ヤさん二人に出会い温泉や山野草の情報を得る。(タチシオデ・オニク@ミヤマハンノキ)等。

金ヶ岳への途中山ヤ@山ねずみさんに会う。観音峠からの登山道と合流した金ヶ岳南方からしばらく 見事な石門をくぐる。このあたりは ピランジが咲くそうである。金ヶ岳頂上は前方斜面にお花が 咲いている。

感想

この山行は 当初CLが初心者参加募集をされたものだったが 参加者なく お花好きな4人となった。初めてのお花にも恵まれ 撮影タイム 鑑賞タイムにしっかり時間を費やした。「百の頂に 百の喜びあり」 深田久弥。石碑に刻まれた言葉が 身に染みる。